

【委員による意見】

1. 甲賀市政に関する意識調査報告書**(言葉の認知)**

- ・ 言葉の具体的な内容の補足があるとありがたい。
- ・ 言葉の認知は、研修を受ける機会のない人の率が低い。

(WLB・働き方)

- ・ 20代以下において「結婚、出産、子育て、介護等に関わらず就労し続けるほうが良い」の回答率が低く、この世代にWLBの啓発が必要。
- ・ 「女性が就労、再就職するうえで必要なこと」として、30代40代で「男性自身の意識改革」が高率で、働き方の推進が必要。
- ・ WLBの考え方については、職種によって難しいのではないかな。
- ・ 希望は「家庭」優先でも現実には「仕事」優先になっているため、職場での理解や働き方改革が急務な気がした。

(アンケート)

- ・ 伝えたい内容と層を分け、その層が一番利用する広告ツールを活用すべき。
- ・ 「仕事」を優先する傾向が高いのは、せざるを得ない状況である可能性が考えられるため、掘り下げて調査することが今後の計画につながると感じた。
- ・ 人口の多い水口町や20代、30代の回答が少ない。何のための調査なのかを吟味し、答えやすいアンケートしたほうがいい。

2. 男女共同参画社会づくりに関する事業所意識調査報告書**(女性)**

- ・ 女性が管理職を望まない理由として、子育て、介護の負担が大きいと思う。

(企業・事業所)

- ・ 企業の収益が考え方を左右するのでは。
- ・ 事業所はメリット、デメリットで動く傾向が強く、制度的な優遇やペナルティが必要。
- ・ 業務の効率化に向けての取組を発表、評価する場など共有できると参考になるのではないかな。
- ・ 今の収入を維持するために生活を支える手立てとして仕事のスキルアップは大切だと思う。

(市)

- ・ 市が力を入れるべきこととして「保育施設やサービスの充実」の割合が高いが、ハード面だけでなく保育従事者の処遇の改善などソフト面の充実の検討が必要。

- ・ 「男性が」「女性が」の考え方は不要。もともと女性が多い、男性しかいない職場もある。どちらも働ける環境がベストだが、職による特性もあるので、性別を気にする必要はないと思う。それよりも、いかに元気に働ける人を市に残すか、来てもらうかを考えるべき。

3. その他の意見

- ・ 地域で勉強会やイベントなどをできるだけ開催してほしい。
- ・ 知らない言葉が多い。（くるみん、えるぼしなど）
- ・ 男女の認識が現代と大きく異なる高齢者、文化が異なる外国籍定住者への啓蒙が特に必要。
- ・ 企業等の従業員向けにアンケート調査を行うとより具体的な状況が把握できるのではないかな。
- ・ 保育園を増やしても、入園までの審査が厳し、育休中の短時間保育など、働きづらい環境を変えていかないと女性が管理職として活躍したり、復帰しても負担が増えてしまうのではと感じた。
- ・ ハラスメントについては、しっかりとした調査が必要。ニュース（新聞等）でいろいろ取り上げられているが、それで終わっているように思う。改善してるとは言えないのではないかな。
- ・ 夫婦の場合は、仕事も生活も二人で助け合って普通の暮らしができるのが望ましいし、単身の場合は、将来のことを考えて生活できればよいのではないかな。

